

2022年2月9日

各位

公益財団法人 日本数学検定協会

**実用数学技能検定「数検」(数学検定・算数検定)
「個人受検」「提携会場受検」の検定料改定について(お知らせ)**

謹啓 立春の候 みなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろは弊会の行う公益事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、このたび弊会は、実用数学技能検定「数検」(数学検定・算数検定、以下「数検」)の「個人受検」ならびに「提携会場受検」の検定料を、2022年10月に実施する検定から別紙のとおり改定することといたしましたので、謹んでお知らせ申し上げます(※団体受検の検定料は、2022年度については改定いたしません)。

弊会の実施する「数検」は年間30万人を超える方々に受検していただける検定に成長し、お陰様でこれまで、のべ650万人の方々にご活用いただきました。これもひとえに、みなさまのご支援の賜と深く感謝申し上げます。

今回の検定料改定の背景には、想定を超える経費の増加がございます。これまでも経費節減に鋭意努力を続けてまいりましたが、原油高による紙製品の値上げにはじまり、個人受検の会場費および検定を運営する人件費や資材価格の高騰などが続いております。このような状況のなかで、現状のサービスの維持・向上、検定の質の確保に努めるに際し慎重に検討を重ねてまいりました結果、やむを得ず「数検」の個人受検・提携会場受検の検定料を改定することといたしました。とくに、これまで提携会場受検の検定料については、受検機会の確保を目的に団体受検の検定料と同額を維持し試行してまいりましたが、実質、個人受検と変わらぬ処理時間と労力および経費を要するため、個人受検と同額とせざるを得なくなりました。

今後は、みなさまの受検機会の確保というご要望にさらにお応えしていくため、個人受検および提携会場受検の会場の拡充はもとより、安全・安心に受検できる環境のさらなる整備に取り組み、引き続き業務改善など自助努力を続けてまいります。

これからも、弊会は、信頼性と有用性が高く、学習指針として広く認められる数学に関する検定事業を実施し、得られた知見を社会に還元することを通じて、世界中の人々の生涯にわたる数学への興味喚起と数学力の向上に貢献できるよう努めてまいりますので、何卒ご理解のうえ、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

実用数学技能検定「数検」(数学検定・算数検定)
 【現行の検定料と2022年10月検定からの「個人受検」「提携会場受検」検定料】(税込)

公益財団法人 日本数学検定協会

■個人受検

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
現行検定料	7,800円	6,700円	6,000円	5,200円	4,500円	4,000円	4,000円
新検定料	8,500円	7,300円	6,500円	5,600円	4,900円	4,300円	4,300円

	6級	7級	8級	9級	10級	11級	かず・かたち
現行検定料	3,000円	3,000円	3,000円				2,500円
新検定料	3,200円	3,200円	3,200円				2,700円

■提携会場受検

	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
現行検定料		5,500円	4,800円	4,000円	3,500円	3,000円	3,000円
新検定料		7,300円	6,500円	5,600円	4,900円	4,300円	4,300円

	6級	7級	8級	9級	10級	11級	かず・かたち
現行検定料	2,500円	2,500円	2,500円	2,000円	2,000円	2,000円	
新検定料	3,200円	3,200円	3,200円	2,700円	2,700円	2,700円	

以上